+

I より、 -成十四年三月| 次のとおり公表する。

第六十七号) の期間に実施した行政監査の結果を、 第百九十九条第二 同同同 本県監査委員 項 児山白松 の規定により平成 同条第九項の規 玉 本 石 島 文 秀 和 紀

雄久男男

改善措置結果 監査対象機関 報告公表事項 精神保健福祉 所長室及び生活指導 平成13年度に屋根修理工事予算が確保できたため、平成13年7月23日までに工事を完了した。 室の雨漏り センター 今後は、随時巡回等を実施し、異常の早期発見に努めたい 食肉衛生検査 男子更衣室の壁に 建物の構造上、どの程度の補修が必要か、それに要する修理費がどの程度かかるのか検討を行い、対応 ひび割れ 消費生活セン 庁舎の雨漏り、屋 平成12年度消費生活センター屋上防水その他工事として10月24日に着手し、12月22日に竣工 上からの配水管のひ した。 び割れ 主要道路からの案 現在、玄関上には東西の道路(3号線側及びメルパルク側)から見えるように看板を掲げており、庁舎 屋上の南北の壁面(電車通り側及び白川公園側)には大看板を掲げている。 内板・標識の未設置 さらに、センターのホームページや各種リーフレット等にはセンターの位置図と住所、電話番号を掲載 している。 また、当センターへの相談は約94%が電話によるものであり、来所者についても事前に電話してから の来所が殆どであるため、支障はないと思われるので、現状維持を考えている。 工業技術セン 本館2階の床沈下、 ご指摘のありました問題箇所については昭和44年に竣工以来32年を経過している本館の一部ですが、 ひび割れ 安全性及び経費の面から、原因及び早急な対応の必要性等を確認するため、調査を行い対応策の検討を行 った。 調査にあたっては、設計を行った業者の協力を得て、目視により状況調査を行い、経年変化による劣化 ・強度低下が見られるものの、主要な構造骨組み(柱・梁)にひび割れは見られないため、特に緊急を要 する構造上の問題はないと思われる。 今後、防災機能向上の観点から耐震・劣化診断等の検討を行いながら適切な管理を進めていくこととす 熊本高等技術 旧木工実習棟の内 旧木工実習棟の内壁の破損、屋根の雨漏りについては、施設整備計画に基づいて平成13年3月に 訓練校 壁の破損、屋根の雨 全面的に改修を終了。 現在は車体整備科として使用中。 漏り及び体育館の雨 体育館の雨漏りについては、平成12年12月に補修工事を行い、改善した。 漏り 外階段の錆、教室 外階段の錆については、早急に補修する予定。 天草高等技術 訓練校 ・廊下の塗装の剥が なお、天草高等技術訓練校については、そのあり方について見直しを行っているところであり、今 れ 後の方針を見ながら補修について検討したい。 中央家畜保健 生化学室他3室の ひび割れ箇所を検査したところ、営繕工事の必要はないとの結果であった。 内壁に多数のひび割 衛生所 れ 漁業取締事務 主要道路からの案内 平成13年8月10日に主要道路(国道266号)沿いに案内板を設置した。 所 板、標識の未設置

十二日